

「春季大会(近畿・インターハイ1次予選)」 結果報告

5月3日(男子)・5日(女子)に、大阪城弓道場において「平成29年度春季大会1日目」が行われました。この大会は、6月に行われる近畿・インターハイの代表決定戦の予選を兼ねており、団体は20中以上、個人は6中以上で代表決定戦に出場できます。

◆大会前に和歌山遠征に行ってきました。

大会直前の4月29日・30日に、和歌山県の紀央館高校と日高高校と練習試合を行いました。すでに恒例?となった和歌山遠征ですが、いつもは春季大会の終わったあとに行っていたのですが、今年は日程が合わずこの時期になりました。実はこの時期、和歌山勢にとっては5月1日の住吉遠的大会に向けて遠的練習をする大事な調整時期です。しかも日高高校の3年生は模擬試験があり、30日の午後のみ参加という本当に厳しい日程に、無理を言って練習試合を入れてもらいました。結果、射形や体配等ではまだまだ大きな差がありましたが、何とか勝ちきることが出来ました。ここ数日、調子が上がらず、大会前に少し焦りが出てきていた今の本校にとっては大きな自信になりました。



◆春季大会 男女とも振るわず・・・

3日は男子です。団体1チーム(曾山、森永、浅田、寺田、伊藤)と個人で3名(古川、北井、増田)が出場しました。和歌山遠征で少し状態が上向いてきたとはいえ、まだまだ本調子には程遠い感じです。とにかく、的中が安定しません。結果、団体の1立目8中と出遅れ、2立目13中としたものの、最後の3立目9中で合計30中という情けない結果となりました。本当に予選を通過しただけという感じです。個人も、わずか3名(曾山、寺田、伊藤)しか通過できませんでした。個人では、曾山が2立8射7中と上位を狙える位置にいましたが、3立目に崩れて入賞を逃しました。

5日は女子です。女子はもともと3名(高橋、近藤、吉岡)しかおらず、団体は厳しかったので、なんとか個人で1名でも通過してくれればと思っていましたが、こちらもあと一歩及ばず予選通過はなりませんでした。



◆再度、挑戦です・・・

今回は、思うような結果は出ませんでした。悔しくて、残念な気持ちでいっぱいですが、終わったものは仕方ありません。6月の代表決定戦には、顧問推薦を含めて男子団体、男子個人4名、女子個人1名が出場します。まだ1ヶ月あります。このままでは終われません。気持ちを切り替えて、もう一度“勝負”できるように、しっかり準備したいと思います。

「試合での悔しさは、試合でしか晴らせない。」

◆今後の日程

6月10日(土) 近畿・インターハイ個人代表決定戦(大阪城弓道場)
18日(日) 近畿・インターハイ団体代表決定戦(大阪城弓道場)



※1年生がたくさん入部してくれました。

毎年、新入部員が少なく「新チームになったら団体組めるかなあ」と心配していましたが、今年はなぜか多くの生徒が入部してくれました。現在、男子10名、女子6名の合計16名です。2, 3年をあわせた人数よりも多くなってしまいました。特に、女子の6名は本当にうれしいです。(本校初の女子の5人団体が組めます。) この部員たちが、今回初めて弓道の試合を観戦しました。他校の選手の射、的中、応援、同じ1年生の挨拶や態度・・・ みんなが目指すべきものがそこにありました。何かを感じ取ってくれればと思います。

『壁というのは、できる人にしかやっこない。』

超えられる可能性がある人にしかやっこない。

だから、壁がある時はチャンスだと思っている。』